

「農村集落の将来像を描く目標地図への取り組み」

京都府 綾部市農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	19人
○ 農地利用最適化推進委員	:	17人
○ 事務局職員	:	3人
○ 関係団体（名称のみ）		現地推進役、JA
○ 市町村行政との連携状況：		
必要に応じ、定例総会で進捗状況等を報告		



2 地区の特徴、状況、課題

（市の概要）綾部市は、京都府の中央北寄りに位置し、市域の約8割を山林が占める田園都市。
 （市の課題）人口減少と高齢化により、農業従事者は減少の一途。また、中山間地域が多く、さらに鳥獣被害も増加し、農村集落はその対策に疲弊している。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 地域計画は、市全体で1つの計画とするが、つながりの強い旧町村単位12地区で話し合うこととした。
- 農業委員、最適化推進委員が中心となり、地域の担い手や中山間直接支払・多面的機能交付金取組組織代表者等とともに目標地図の作成を進めた。
- 市で作成した案をもとに、目標地図に位置付ける農地を確認した。
- 担い手の営農を側面から支える新しい仕組みについて課題提起を行った。
- 合わせて、集落における課題を聞き取り、課題の共有や解決に向けた方策に

4 成果（地域計画の実行に向けた取組内容）

集落における現状把握とともに、当面の担い手や守るべきエリアなどを具体的にイメージすることにより、今後の利用集積に向けた集落の方向性が確認できた。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください